

# 三鷹市地域ポイント事業 基本方針

～新しい参加と協働に向けて～

令和6(2024)年2月

三 鷹 市

## 目次

1 はじめに	1
2 試行運用の取組実績	2
(1) 主な取組	2
(2) 利用実績等	3
(3) 地域ポイントの付与数	3
(4) 地域にぎわいポイント事業の実施(令和5年度)	3
3 試行運用の分析・評価	4
(1) 地域ポイントの循環	4
(2) 地域ポイントの付与	4
(3) 地域ポイントの利用	5
(4) アプリの利用支援	5
(5) 記念品交換場所の確保	5
4 本格運用に向けた基本的な考え方	6
(1) コンセプトと方向性	6
(2) 地域ポイントの価値設定	6
5 本格運用における事業展開	7
(1) ポイント愛称の利用	7
(2) 地域ポイントの付与	7
(3) 地域ポイントの利用	8
(4) その他の取組	8
本格運用後の事業展開のイメージ図	9
資料編	10
1 地域ポイントの付与実績(令和6年1月31日現在)	10
2 地域ポイントの利用実績(令和6年1月31日現在)	11
3 記念品交換の実績(令和6年1月31日現在)	12

## 1 はじめに

三鷹市では、全国に先駆け住民協議会の活動を核とした市民自治を目指すまちづくりを推進してきました。一方で、少子高齢化の進展や地域を取り巻く環境の変化などから、コミュニティ活動への参加者の高齢化や固定化に加え、後継者の育成問題などの課題が顕在化しており、活動者が減少傾向にあり地域課題の一つとなっています。

そうした中、地域通貨を活用し、地域を支える人財の創出のほか、社会貢献活動への参加促進や継続した活動を支援するとともに、健康づくりや地域のにぎわい等を通してコミュニティの活性化を図ることを目的として、令和4(2022)年12月から、「三鷹市地域ポイント事業」(以下「ポイント事業」という。)の試行運用を開始し、「みたか地域ポイント」(以下「地域ポイント」という。)を導入しました。

この基本方針は、令和6(2024)年4月からのポイント事業の本格運用への移行に当たり、地域ポイントの更なる活用により、多様な事業展開を図ることで、利用者の皆様に楽しみながら慣れ親しんでいただける事業を目指すとともに、新たな活用方法を創出し地域を盛り上げるなど、オール三鷹で市内外に三鷹市の魅力を発信し、三鷹のブランド力の向上に向けて策定するものです。



## 2 試行運用の取組実績

### (1) 主な取組

年 月	主な取組
令和元(2019)年 12月～ 令和3(2021)年 12月	三鷹まちづくり総合研究所「みたか地域通貨・ボランティアポイント研究会」での研究
令和4(2022)年 2月	「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」事業基本方針の策定
12月	「三鷹市地域ポイント事業」試行運用開始
令和5(2023)年 2月	ポイント交換機能追加 SUBARU総合スポーツセンター等での券売機との連携
3月	専用WEBサイトの開設 利用者アンケートの実施
4月	庁内推進会議の開催
6～7月	「地域にぎわいポイント事業」募集・採択
10月	住民協議会等の事業へのポイント付与開始
12月	市内店舗での決済開始（33店舗） 庭先販売所での購入者へのポイント還元開始 愛称の募集 スタンプラリーの実施
令和6(2024)年 1月	タッタカくんウオーク&ランアプリとのポイント連携開始
2月	愛称が“みたポ”に決定
3月	「地域にぎわいポイント事業」成果発表会（予定） 利用者アンケートの実施（予定）
4月	本格運用の開始

## (2) 利用実績等

項目	令和5年3月末	令和6年1月末
利用者数（デジタル）	789人	3,143人
利用者数（アナログ）	29人	421人
地域ポイント付与数（※1）	251,250 ㊦	2,221,765 ㊦
地域ポイント利用数（※1）	28,400 ㊦	405,168 ㊦
付与対象の活動数（※2）	7事業	34事業
付与対象のイベント数（※2）	7事業	28事業

※1 地域ポイント付与・利用数は、デジタル版のみの集計値

※2 住民協議会の活動及びイベントについては、1住協につき1事業とカウント

※3 付与対象の活動やイベント、利用の詳細は資料編を参照

## (3) 地域ポイントの付与数

### ア ボランティア活動等

市が指定するボランティア活動や地域活動への参加者に対して地域ポイントを付与する。

活動時間	付与ポイント数
1時間以上5時間未満	300 ㊦
5時間以上7時間未満	500 ㊦
7時間以上	1,000 ㊦

### イ テーマイベント

年度テーマの「健康増進」「環境保全」に関わるイベントのうち、市が指定したイベントへの参加者に対して地域ポイントを付与する。

活動時間	付与ポイント数
対象イベントへの参加	100 ㊦

## (4) 地域にぎわいポイント事業の実施(令和5年度)

### ア 事業目的

町会や自治会をはじめとする市内の地域団体等が地域貢献やにぎわい創出に向けて行う自主的・主体的な活動に対して、地域ポイントを付与することで、地域活動の支援や促進につなげるとともに、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。

### イ 地域ポイント付与の対象

(ア) 地域貢献・にぎわい創出事業に係る活動【ボランティア】

(イ) 地域団体が主催する市の設定テーマに沿ったイベントへの参加【参加者】

#### ウ 付与ポイント数

1 団体当たり上限 50,000 ポイント。なお、対象事業に参加した個人への付与上限は 5,000 ポイントとする。

#### エ 採択団体（7 団体）

	団体名	事業内容
1	井口小ダディーズ	キャンドルナイト、井口小運動会 等
2	京王つつじヶ丘自治会	中仙川遊歩道清掃活動
3	下連雀第一町会	四小地区むらさき運動会、町内歳末夜警
4	地域ボランティア団体“うず”	環境講座 等
5	一社)江戸小唄つながりコーチング	笑って！江戸小唄を楽しく伝える会 等
6	上連雀三丁目四ツ葉自治会	かみさん広場草刈、町内歳末夜警
7	三鷹阿波踊り振興会	三鷹阿波踊り

#### オ スケジュール（予定含む）

令和 5 年 7 月 14 日（金）	審査委員会（採択事業決定）
7 月～ 3 月	事業実施（団体内でポイント付与）
3 月中旬	成果発表会
3 月下旬	実績報告・ポイント清算

### 3 試行運用の分析・評価

#### (1) 地域ポイントの循環

地域通貨には、特定の領域内で地域通貨を循環させることによって、メリットを生み出すといった特徴があり、ポイント事業では、循環の仕組みとして、地域ポイントを利用者同士であげたり・もらったりすることができる交換機能を搭載した。しかし、ポイント事業の普及率や地域ポイントの流通量が少ないことなどから、利用者間での循環利用がなされていないのが現状である。こうしたことから、更に地域ポイントの認知度を上げるとともに、ポイント事業の定着化や地域ポイントの更なる流通に加え、循環につながる機会や仕組みづくりが必要となる。

#### (2) 地域ポイントの付与

##### ア 運用について

地域ポイントは、1 ポイント = 1 円の兌換性があり、店舗等で利用された後の現金化には、一般財源により市が負担することから、付与は公平かつ公正に行われる必要がある。地域ポイントは、ボランティア活動等への参加実績に応じて付与しており、付与に当たっては、活動実態の確認と職員等による付与作業が不可欠であり、同時に職員負担にもつながる。こうした中、付与対象事業の拡充を図りつつ、ポイント付与に係る運用をいかに確保するかが課題の 1 つである。

## イ 付与対象事業について

試行運用では、ボランティア活動や地域活動の参加者のほか、市が設定するテーマ（「健康増進」及び「環境保全」）に係るイベントの参加者のほか、スタンプラリーの達成者などに対して、地域ポイントの付与を行った。広く市民の皆様が地域ポイントを利用していただくには、更に付与対象事業を拡充していく必要がある。公平・公正の観点から踏まえながら、幅広い市民の皆様へ、楽しみながら慣れ親しんでいただける事業を企画・実施することで、みたか地域ポイントアプリ（以下「アプリ」という。）の利用を通じて、ボランティア活動や地域活動の参加促進につなげていく必要がある。

### (3) 地域ポイントの利用

試行運用では、公共施設（一部）における決済と記念品交換により、ポイント利用の運用を開始し、令和5年12月から、市内33店舗でのキャッシュレス決済を可能とした。令和6年1月末時点における利用割合は、記念品交換が76.9%、店舗利用が14.7%、公共施設利用が8.4%となっている。特に店舗利用は、利用開始から2か月で利用割合の約15%を占めるなど、需要が高いことが見て取れる。こうしたことから、利用店舗の拡充や地域ポイント決済を補完する支払手段の検討が課題として挙げられる。

### (4) アプリの利用支援

試行運用を開始して1年が経過し、令和6年1月末時点の利用者は、アプリを使ったデジタル版は3,143人（88.2%）、スタンプカードによるアナログ版が421人（11.8%）となっている。コールセンター等において、アプリの利用方法に係る問い合わせはほとんどなかったものの、引き続き利用支援を行いながら、アプリを使ったキャッシュレス決済や市からのプッシュ通知など、利用者の利便性の向上やデジタル社会の推進に向けてデジタル版の普及に努める必要がある。また、運用に係る負担軽減等の観点から、アナログ版のあり方の検討が課題である。

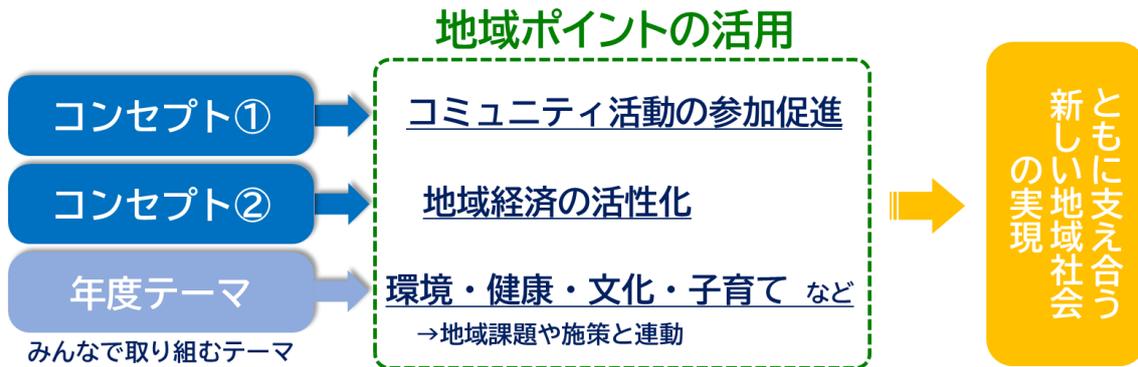
### (5) 記念品交換場所の確保

令和5年12月に「三鷹市市民参加でまちづくり協議会（愛称：マチコエ）」が解散した。このことにより、これまで記念品交換場所として利用していたマチコエ拠点を令和6年4月以降も継続利用することが困難であるため、新たな記念品交換場所の設置や郵送のみの対応への見直しなど検討を進める必要がある。

## 4 本格運用に向けた基本的な考え方

### (1) コンセプトと方向性

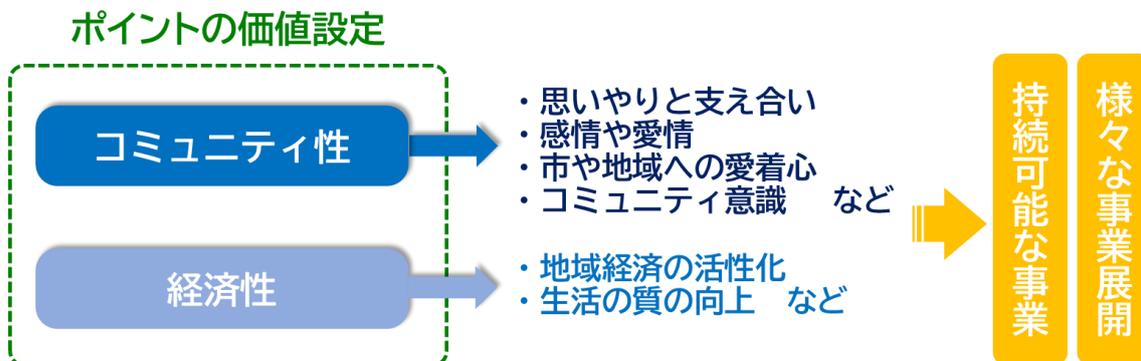
試行運用の分析・評価の結果を踏まえ、ポイント事業の本格運用への移行に当たっては、「ボランティア活動や地域活動などのコミュニティ活動への参加促進」と「地域経済の活性化」の2点を大きなコンセプトとする。また、年度ごとに「環境」「健康」「文化」「子育て」などのテーマを設定し、地域ポイントと連携して事業を展開することで、地域課題の解決や地域のにぎわいを創出し、三鷹市の魅力やブランド力を高めるとともに、ともに支え合う新しい地域社会「明日のまち三鷹」の実現を目指していく。



### (2) 地域ポイントの価値設定

ポイント事業の実施に当たっては、コミュニティ性（思いやりと支え合い、感謝や愛情、市や地域への愛着心、コミュニティ意識など）を重視しつつ、経済性（地域経済の活性化、生活の質の向上など）の視点も活かした事業展開を図ることとし、これら2つの性質を地域ポイントの「価値」に設定する。

2つの性質（価値）を合わせ持った地域ポイントが、地域内で循環するためのシステム（仕組み）を構築することで、将来的な事業展開の可能性を広げるとともに、持続可能な循環型事業を目指していく。



## 5 本格運用における事業展開

### (1) ポイント愛称の利用

公募により令和6年2月に決定した愛称“みたぽ”を広く周知するとともに、利用者に愛され、親しみやすい事業展開を図る。



### (2) 地域ポイントの付与

#### ア ボランティア活動への付与拡充

地域ポイント付与に係る運用方法を見直すなど、公平性と公正性を確保しながら、付与対象となる事業を拡充し、ボランティア活動や地域活動の参加促進や活動支援を図る。

#### イ テーマ設定の拡充

試行運用中の2つのテーマ（「健康増進」「環境保全」）に、新たに「防災」を加え、テーマイベントへの参加者への地域ポイント付与の拡充を図るとともに、設定テーマに係る施策等の普及促進を図る。

#### ウ その他事業へのポイント付与

アンケート調査への回答者やスタンプラリーの参加者に対して地域ポイントを付与するほか、市内産農産物の購入など、三鷹のまちへの貢献や三鷹のまちを応援する取組への参加者などに対しても、公共性を確保しながら地域ポイントを付与する。また、アプリの利用を通して、ボランティア活動等への誘導を図る。

#### エ 付与ポイント数の見直し等

利用者の参加促進や利便性の向上を図るため付与ポイント数等を見直す。

見直し点		変更前	変更後
付与 ポイント数	1時間以上5時間未満	300 ぽい	500 ぽい
	5時間以上7時間未満	500 ぽい	1,000 ぽい
	7時間以上	1,000 ぽい	1,500 ぽい
有効期限（デジタル版）※		1年間	2年間

※最後に地域ポイントを取得または利用した日からの期間

#### オ 地域にぎわいポイント事業の拡充

令和5年度に開始した地域にぎわいポイント事業について、地域貢献や地域活性化に係る活動を行う自治組織等へのポイント付与数を100,000ポイントに拡充し（現行50,000ポイント）、更なる地域のにぎわいとコミュニティの活性化を図る。

#### カ 企業版にぎわいポイントの導入に向けた試行

市内企業が地域ポイントを購入し、購入した地域ポイントを利活用することにより、地域貢献や地域活性化につながる仕組みの構築に向けて検討を進める。

### (3) 地域ポイントの利用

#### ア 参加店舗の拡充等

地域ポイントが使える市内店舗を拡充し、ポイントの利用機会の拡充と地域経済の活性化を図る。また、店舗での独自利用の検討など、店舗と連携し、地域ポイントを活用した地域のにぎわいづくりに取り組む。

#### イ 記念品交換所の変更

令和6年4月より記念品交換所を企画経営課(市役所本庁舎3階)に変更する。

#### ウ 寄付制度の導入

利用者が取得した地域ポイントを市に寄付できる仕組みを導入する。

### (4) その他の取組

#### ア スタンプカード(アナログ版)のあり方検討

引き続き、利用実態を把握しつつ、スタンプカード(アナログ版)のあり方について検討を行う。

#### イ アプリの活用

行政情報のプッシュ通知や地域商品券事業、他のスマホアプリとの連携など、アプリを活用した行政サービスの充実や市民の利便性の向上を図ることにより、アプリの更なる利用促進を通して、ボランティア活動につなげるとともに、コミュニティや地域経済の活性化を目指す。

#### ウ 電子マネー機能の導入

公共施設や市内店舗等でキャッシュレス決済に利用できる「地域マネー(仮称)」をチャージする機能を導入し、地域ポイントによる決済を補完するとともに、期間限定のポイント還元などの仕組みを導入することにより、キャッシュレス決済の促進と地域経済の活性化を目指す。

#### エ 庁内連携による推進

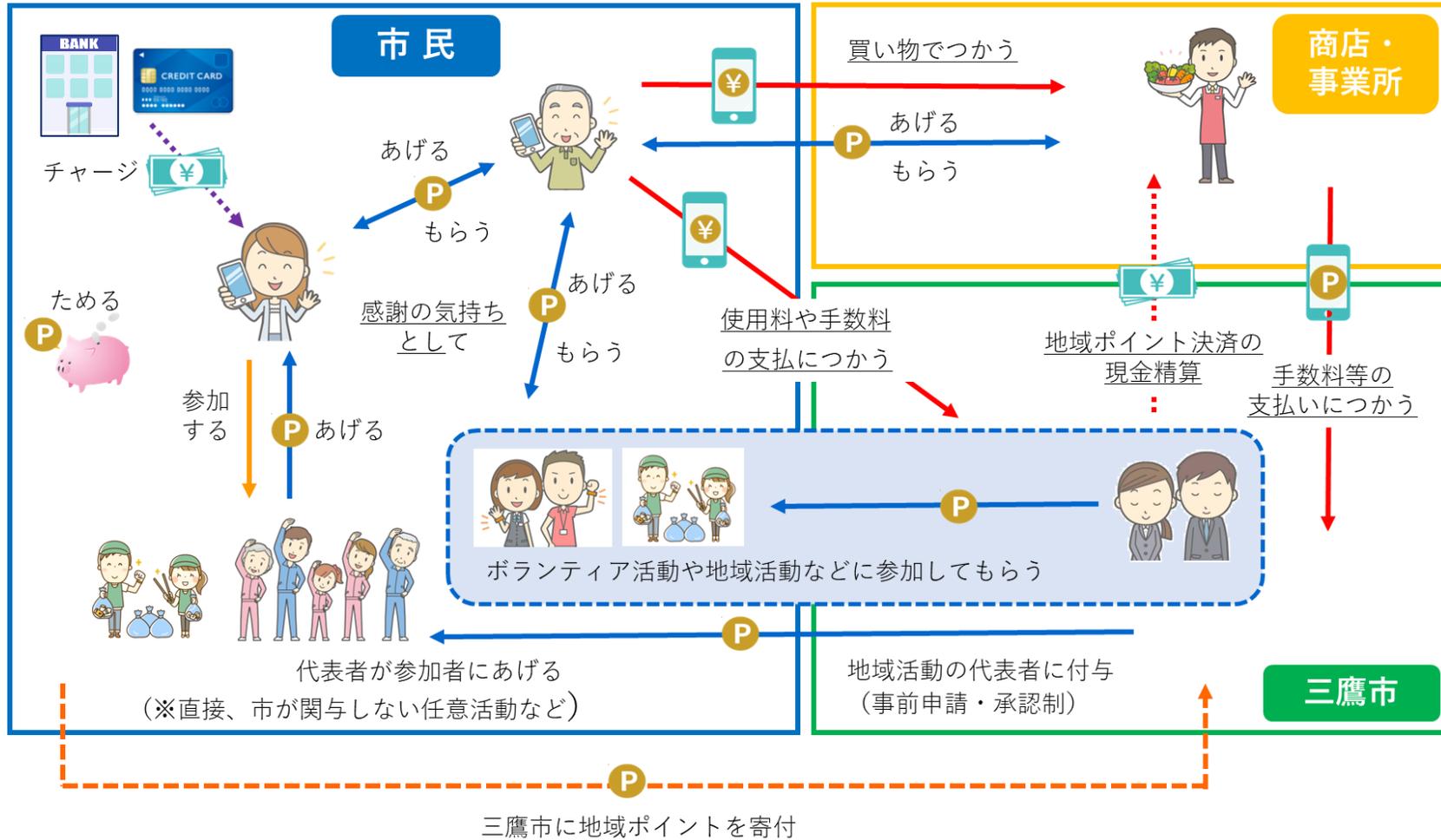
試行運用を踏まえ、庁内関係部署の横連携を図りながらポイント事業の推進を図ることとする。

#### オ 職員提案による事業実施

令和5年度の職員提案制度で提案があった「みたか地域ポイント専用カプセルトイ」を設置する。カプセルの中身には、既存の記念品に加え、市の魅力を発信する記念品を導入する。

本格運用後の事業展開のイメージ図

P 地域ポイント  現金



## 資料編

### 1 地域ポイントの付与実績(令和6年1月 31 日現在)

並び順：付与ポイント数の多い順

No.	付与対象事業名	付与実績	
		のべ人数	ポイント数
<b>&lt; ボランティア活動 &gt;</b>			
1	Machikoeボランティア	1,761人	557,300pt
2	MISHOPボランティア	988人	297,200pt
3	地域ケアネットワーク推進事業ボランティア	300人	90,000pt
4	アドベンチャーだっしゅ村実行委員会	96人	84,800pt
5	みたかスポーツフェスティバル実行委員会・ボランティア	80人	77,700pt
6	米作り体験会ボランティア	53人	46,700pt
7	みたか星空案内サポーター	82人	26,000pt
8	みたか太陽系サポーター	76人	23,000pt
9	THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023 ボランティア	36人	20,400pt
10	Mitakaみんなの防災フェスタ企画運営委員会	57人	17,100pt
11	みたか観光応援隊	30人	15,800pt
12	三鷹大沢わさび保全ボランティア	49人	14,700pt
13	みたかわんぱくスポーツDAY2023ボランティア	13人	13,000pt
14	傾聴ボランティア事業	43人	12,900pt
15	東京ポッチャ選手権ボランティア	13人	11,600pt
16	三鷹まるごと博物館ボランティア	27人	8,100pt
17	三鷹市民駅伝大会実行委員会	25人	7,500pt
18	水車古民家まつりボランティア	12人	7,300pt
19	大沢の里古民家季節の草花ボランティア	24人	7,200pt
20	ポッチャみたかカップボランティア	18人	7,200pt
21	まちなかカメラマン	12人	4,900pt
22	ラグビーホストゲーム開幕戦イベントボランティア	14人	4,200pt
23	第六小学校授業サポート	14人	4,200pt
24	ポッチャみたかカップボランティア	9人	3,700pt
25	JAPAN RUGBY LEAGUE ONE観戦事業ボランティア	11人	3,300pt
26	大沢野川グラウンドオープニングイベントボランティア	2人	600pt
27	三鷹国際交流フェスティバル当日ボランティア	2人	600pt
<b>&lt; イベント等 &gt;</b>			
1	みたかデジタルスタンプラリー	1,064人	14,155pt
2	第56回三鷹阿波おどり	22人	11,000pt
3	みたかの公園を遊びつくそう！	75人	7,500pt
4	スタンプラリーイベント「直売所スタンプラリー」	74人	7,400pt
5	みたか50kmラン！	68人	6,800pt
6	小型EVバス「井のバス」	63人	6,300pt
7	みたかチャレンジラン	31人	3,100pt
8	第11回認知症にやさしいまち三鷹	26人	2,600pt
9	みたかチャレンジウオーク	23人	2,300pt
10	みたかバーチャルウオーキング駅伝大会	22人	2,200pt

11	省エネルギー講座	15人	1,500pt
12	みたかふれあい支援員養成研修（A、Bコース）	13人	1,300pt
13	環境に関する講座	8人	800pt
14	市民歩こう会	8人	800pt
15	みたかふれあい支援員養成フォローアップ研修	6人	600pt
16	四小地区運動会	5人	500pt
17	愛歯のつどい	3人	300pt
18	ICU学祭	3人	300pt
<b>&lt;住民協議会の活動・イベント等&gt;</b>			
1	新川中原住民協議会	461人	187,700pt
2	三鷹駅周辺住民協議会	189人	66,900pt
3	連雀地区住民協議会	215人	64,500pt
4	三鷹市西部地区住民協議会	146人	43,800pt
5	三鷹市井の頭地区住民協議会	143人	42,900pt
6	三鷹市東部地区住民協議会	118人	35,400pt
7	大沢住民協議会	31人	9,300pt
<b>&lt;その他&gt;</b>			
1	三鷹市地域にぎわいポイント	7人	326,800pt
2	アンケート回答	135人	6,750pt
3	タッタカくんポイントとの交換	10人	1,260pt
<b>合計</b>		<b>6,831人</b>	<b>2,221,765pt</b>

## 2 地域ポイントの利用実績(令和6年1月31日現在)

並び順：利用ポイント数の多い順

No.	参加店舗名	利用実績	
		件数	ポイント数
<b>&lt;公共施設等&gt;</b>			
1	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ	58件	21,700pt
2	三鷹ネットワーク大学	25件	12,500pt
3	新川テニスコート	0件	0pt
4	大沢総合グラウンド	0件	0pt
<b>&lt;市内参加店舗（令和5年12月～ 34店舗の合計）&gt;</b>			
1	市内参加店舗	34件	59,468pt
<b>&lt;記念品交換（記念品交換所・郵送）&gt;</b>			
1	記念品交換	308件	311,500pt
<b>合計</b>		<b>425件</b>	<b>405,168pt</b>

### 利用者間のポイント交換実績

154件・136,685ポイント

### 3 記念品交換の実績(令和6年1月 31 日現在)

No.	記念品	交換実績
1	国立天文台望遠鏡キット	17
2	花の種<あさがお> (1袋)	4
3	エントツくん 蛍光ペン (フリクションライト イエロー 1本)	7
4	エントツくん 蛍光ペン (フリクションライト ピンク 1本)	8
5	エントツくん 蛍光ペン (フリクションライト グリーン 1本)	8
6	エントツくん えんぴつ (丸軸2B 3本入り)	7
7	太陽系ウォーク クリアフォルダ (2枚セット)	1
8	たかじょうくん ラバーコースター (1個)	9
9	たかじょうくん 缶バッジ (1個)	2
10	じじよまる 携帯トイレ (2個セット)	14
11	家庭系ごみ指定収集袋 L袋 (10枚) 40リットル	73
12	家庭系ごみ指定収集袋 M袋 (10枚) 20リットル	207
13	家庭系ごみ指定収集袋 S袋 (10枚) 10リットル	234
14	家庭系ごみ指定収集袋 ミニ袋 (10枚) 5リットル	168
15	井の頭地区小型EVバス事業 井のバス無料乗車券 (1枚)	12
16	井の頭地区小型EVバス事業 井のバス無料乗車券 (3枚)	2
17	井の頭地区小型EVバス事業 井のバス無料乗車券 (5枚)	0
18	図書館オリジナルバッグ (ブラック)	17
19	図書館オリジナルバッグ (ベージュ)	8